

報告①-Ⅰ 大会レポート

令和6年度 第52回研究大会 レポート

Ⅰ.当日の参加者

小学校 31名 中学校 17名 高等学校 1名
特別支援学校 22名 市町村教育事務所・教育委員会 5名
保護者 2名 その他 4名 分科会関係者 47名
役員・来賓 12名 事務局校職員 96名 計237名

Ⅱ. 公開授業の感想等

- ・いろいろな教科を参観させてもらい、勉強になりました。
- ・タブレットや電子黒板などを活用したりして、児童生徒の興味関心を高める手法を取り入れていて良かった。
- ・教室の中に入って見られてとても良かったです。子供たちも落ち着いて受け入れてくれて、ありがとうございました。
- ・どのクラスも実態に応じた工夫が素晴らしいです。参考にしたいことがたくさんありました。
- ・勉強になりました。ありがとうございました。
- ・子どもたち1人1人に寄り添う先生方や、自立に向けて、学習に取り組もうしている子どもたちが素晴らしいと思いました。ありがとうございました。
- ・様々な授業が見られて良かったです。見学できなかった他学部の授業もゆっくり見たかったです。ありがとうございました。
- ・現在中学校にて特支担任(情緒)を受け持っておりますが、参考までに高等部を見学させていただきました。自身、社会科も受け持っておりますので、授業の進め具合やタブレットの活用など興味深く、参考になりました。

○小1・2B 国語「くまさん くまさん」

- ・45分間授業に落ち着いて座って取り組んでいて、素晴らしいと思いました。
- 発音の歌、紙芝居、動作化、みんなで、一人で、お楽しみ、振り返り、挨拶と次から次へと進むテンポに子供たちが集中して乗っていき、日頃から取り組まれている様子が見えました。
- 前で進める先生と後ろからサポートする先生と一人に寄り添う先生の役割分担と連携がとても良いと思いました。
- ・1時間の見通しを持たせながら、子どもたちも楽しく学習してる姿がステキでした。ありがとうございました。

○小4 自立活動「やってみよう」

- ・個に応じた教材、教具が準備され、子どもたちが夢中になって取り組んでいて良かったです。
- ・個に応じた自立活動を2人の教諭で分担してみていたのが良かった。
- ・個別にメニューが用意されていて、学習活動も多彩。本来私もやらなきゃいけないことだと思いましたが、できてなくて反省しました。3学期から取り組みます。

○小5 特別活動「正しい食生活を身に付けよう」

- ・宿泊学習で学んだことを特活、よい食生活に繋げる学習、とてもおもしろくワクワクつたわりました。

○小6 道徳「皆が赤ちゃんだった頃」

- ・子どもたちの笑顔が凄く印象的でした。

○高3A 理科「宝物の隠し場所」

- ・Kahootでテンポよく復習していて良かった。
- ・付箋をテレビに貼る活動が、生徒に動きがあって良かった。
- ・再度考える時間を十分取っているのが良かった。深い学びにつながっていた。
- ・発表しやすい雰囲気作りができていて良かった。
- ・今後、授業で取り入れたいkahoot!の実践が見れて参考になりました。
- ・生徒が宝物を隠す場所を発表した時に良い点を誉めていたことが自己肯定感を高めることにつながり、いいと思いました。
- ・内容が1時間にギュッとつまっていた感じもあったので、2時間に分けてもいいかもしれないなと思いました。この時間は最後のまとめスライドにあった「他の人の発表を聞いて」を深掘りして、誰の案が良かったのか、なぜ1番良いと思ったのか等を発表とあわせて行い、比較する力を高める、次時に実生活との関わり(災害など)を深掘りするのも面白いかもしれないなと思いました。

○高3B 社会「はたらく人を守るきまりとしくみ」

- ・タブレットの活用やまとめ含めしっかり学んでいる姿勢が感じられました。

3.研究大会アンケート結果

(1) 概要

期間：令和6年12月13日（金）～12月27日（金）

方法：Microsoft Forms で収集（匿名にて処理）

対象：研究大会参加者 各位 （45 件）

(2) 満足度

4.58 / 5

(3) 研究大会についてご質問・ご感想・ご意見等

- ・自らの経験も含めて、特性からくる困難さを分かりやすく教えて下さり、たくさんの学びができました。教師としての支援の手立てだけでなく、特性を踏まえた子ども達の理解者になれるよう、これから自己研鑽を積む必要を感じました。機会がありましたら、綿貫先生の講話をお聞きしたいと思います。大会関係者の方も含めまして、本日はどうもありがとうございました。
- ・講演会を聴いていませんので感想を記載します。
第3分科会に参加しましたが、とても内容が充実してとても良かったです。研究報告も良かったのですが、指導助言が公立小中学校の先生方にも分かりやすく話されており大変勉強になりました。昨年度より事務局校だった名護特別支援学校の皆さん、大変お疲れ様でした。
- ・初めての特別支援学級の担任をさせてもらい、勉強&実践中の毎日です。公開授業を見る機会がなかなかなかったので、参加できてとても勉強になりました。講演も、当事者の目線からのお話がすごく驚きであったり色々な気付きもあり、お聞きできて良かったです。今日の学びを自分自身でまた振り返り、実践に生かしていきます。本当にありがとうございました！
- ・色々な支援方法や、手立ての方法が学べて、大変良かったです。
- ・ありがとうございました。当事者の話は説得力があります。不登校への「支援」と考えられていた「適応指導」が死語になりつつあります。SST そのものも、見直しが必要なのかもしれない。障害者が社会に適応するのではなく、障害者を差別排除している社会が、障害者を包摂できる共生社会に変わっていかねばならない。そのために国連の勧告に従い、分離教育を止めて、インクルーシブ教育に向かわなければならない。
- ・正直、もっと聞きたいと思わせるような素晴らしい内容の講演でした。2時間ノンストップで発達障がいについて、当事者の立場から丁寧に言語化された内容は、改めて個々の特性（障がい）を持っている人々の世界を理解し、尊重することの大切さを実感させられました。また、障がい者の立場から、「障がい者の立場から見た世界」を理解してほしい、尊重してほしいという強い「念い」に共感するものがありました。以前（約20年前）に、「自閉症の人々の世界」を理解して共有しつつ、「こちら（常識）の世界」に近づける。と言った考え方を研修会で学び、なるほどと思っていたのですが、今日の講演でその傲慢さに気付かされ、愕然とさせられた思いです。最近、健常者と障がい者って何が違うのか？とか、グレーゾーン（黒と白があって）という捉え方っておかしな考えだなあと考えています。実際、真っ黒な人っているんでしょうか？、真っ白な人っているんでしょうか？、多かれ少なかれ、誰もが、黒っぽかったり、白っぽかったり、縞々なんじゃないか？、ましてや、モノトーン以外の色は持っていないんでしょうか？と考えてしまうこの頃です。目の前にいる人（子ども）を、どのように理解し、尊重するのか!?どのように関わり、どのような世界を共に作っていけるのか、不安でもあり、楽しみでもあります。また機会があれば、是非お話しを伺いたと思います。わざわざ沖縄まで来て頂き感謝です。本日は誠に有難うございました。
- ・授業を参観させていただく機会が少ないので、大変勉強になった。第7分科会でも、悩みに答えて頂き、感謝しています。
- ・当事者目線でのお話に、考えさせられる部分がたくさんありました。ありがとうございました。
- ・これまでは、どうすれば行動をなおせるかという気持ちの方が強かったなどこれまでの自分をふりかえることができました。行動を正すというのではなく、本人の立場に立ち、必要な調整と一緒に考えられるようになりたいと思いました。ご講話ありがとうございました。
- ・分科会の持ち方として、今までの発表者の事例を聞く方法より、みんなで話し合いに参加して、指導助言を聞く方法になっていてより自分事として考えることができたと思う。司会者や運営に負担が掛からないのであれば、この分科会の持ち方がいいのではないかなと思う。発表者も共有したい悩みを皆で話す（考える）時間のための提案。ぐらいいの気持ちで、普段の業務に負担が掛からないような事例報告になるとさらにいいのではないかなと思う。
- ・協議形式がどう進むのか運営としては不安だったが、他校の先生の困り感についてみんなで考えることができて、結果的に良い流れだった。4名ほどのグループで話し合うことで、共有しやすい雰

- 困りができていたと思う。指導助言者に最後にまとめてもらい、良い研修の機会になった。
- ・専門的な視点や、当事者としての話など興味深い記念講演でした。分科会では、悩みを共有できたことと、色々なアイディアを出し合えていい会になりました。
 - ・第7分科会へ参加しました。主に就学支援側の様々な事例を聞くことができました。支援を要する生徒に「ひんぱんに」なのか「一部」なのかの解釈があげられてました。就学支援にあたり、そのような文言があるにもかかわらず、就学支援員の先生方がびっくりなさるような事例があるということは、そのくらい小、中学校は切羽詰まった事例が多いのだろうと感じています。就学支援には該当しない事例ではあっても何らかの支援が必要ということなので、支援学校のセンター的役割を活用しながら、地域の支援学校も一緒に考えてくださるといいなと感じました。
 - ・第7分科会は質疑応答後、参加者4～5名に別れ、提案者の共有したい悩みやそれぞれ所属する学校等の情報交換の時間を持った。各グループの意見紹介もあり、参加型でよかったと思います。
 - ・系の皆様お疲れ様でした。
 - ・自閉症スペクトラムの特徴や支援の仕方を知ることができ、よかった。2時間近い講演会でしたが説明が分かりやすかったので、あっという間に感じました。
 - ・分科会で、お互いの悩みや課題を共有する時間はとても良かった。小学校、各特別支援学校の教員で意見交流を行う事で、多方面からアプローチする方法や指導のヒントが見つかると思うので続けていきたいと思った。
 - ・前回と比較して、今回は報告者と困り感や他校での取り組みを共有できたりして良かったです。個人的には今回のスタイルの方がいいかなと思います。
 - ・協議形式の分科会は良かった。参加した他校の先生方が活き活きと悩みや各校の課題を話し合っていた。司会としての反省は「共有したい悩み」が多く、協議のテーマを一本化したり、絞ることができなかった。そのため、協議では“テーマに沿って話し合うグループ” “各校の就学支援についての悩みを共有するグループ” など各グループで協議内容の幅が広がってしまった。これはこれで良かった気もするが、協議の内容や発表をより絞るなら「共有したい悩み」の本数は3本程度に絞っておく方が良いと思った。
 - ・分科会の発表者や、小学部の職員の話が興味深く楽しく参加できました。司会の先生の進行もとても良かったです。お疲れ様でした。
 - ・今回も素晴らしい大会だったと思います。記念講演をはじめ、参加させていただいた分科会でも多くの先生方と意見交換ができたこともとても良かったです。企画・準備等本当にお疲れ様でした。
 - ・分科会では、たくさんの先生方の意見交換ができ良い刺激になりました。運営では、当日中学校の先生がお一人連絡なく、不参加だったので運営の方で急遽記録にまわったりと少し慌てた面がありました。係に入っている先生は、当日の出欠の連絡はしっかりしていただけると助かります。
 - ・参加者が切れることなく、来校していたので記念講演をちゃんと聴くことができなかった。残念。しっかり、事前に打ち合わせが必要だと感じた。また、参加者のほとんどが内履きを持参しておらず寄宿舎から借用したり、参加費500円を準備しておらず現金を持っていなかったり、1万円札を出す方がいた。参加者の意識の問題だと思いますが・・・次年度の美咲では、工夫が必要かもです。
 - ・分科会の資料は発表者一人に対してファイルは一つにまとめて欲しい。データではどの資料についてお話ししているのかについて行けず、どれを開いているのか行ったり来たりでもたもたしてしまっただ。
 - ・第三分科会については、テーマが複数あったため、議論や内容を深めることが時間の都合もあってなかなか難しいと感じました。次回はテーマを絞っても良いかもです。準備、運営等お疲れ様でした。
 - ・公開授業、記念講演、分科会と1日を通して、非常に学びの多い、1日となりました。系の先生方、お疲れ様でした。
 - ・今回は昨年度と違い、各学校での悩みを共有するということで、たくさんの意見が出て、その後の指導助言も質問に沿った内容もあり、とても参考になりました。時間が足りないくらいでした。今回は、第2分科会に参加しましたが、他の分科会で、少人数のグループになって意見交換をした後、全体で発表したとありました。第2分科会は、すぐ全体での発表だったので、始めは中々意見が出しづらい感じもありました。形態について次年度以降の参考になればと思います。
 - ・内容が分かりやすく充実していた。再度資料を見直して復習をしたいと思うほど情報量も多かった。ご準備等ありがとうございました。
 - ・分科会は充実した会でした。
 - ・綿貫さんの記念講演では、当事者からの意見ということでとても勉強になり、また日頃接している生徒のことを思い浮かべながら講演を聴くことができました。分科会では、特別支援学校だけでなく、特別支援学級の取り組みや各学校の悩み等を共有することで新たな視点が生まれたり、共感したりすることが出来ました。とても勉強になる研究大会でした。お疲れ様でした。
 - ・分科会の持ち方に関して、今回のような情報交換や相談会形式は色々な先生方の声が聞けて、とても良いと思いました。
 - ・綿貫先生の講話勉強になりました。

- ・記念講演や分科会の内容が充実していました。今後の子どもたちの見方や捉え方、指導支援に活かして行きたいと思いました。
- ・今年度の方法で良いと思います。
- ・今回のように事例報告をもとに協議するスタイルが良いと感じました。参加者間で悩みをシェアし考えるよい機会でした！
- ・講演会2時間ありましたが、あっという間に過ぎてしまいました。
- ・運営等お疲れ様でした。大変意義深い研究大会でした。講演会では自身のことを詳細にお話していただき参考になることばかりでした。たくさんの情報がいただけました。分科会では、各学校の事例やアドバイスが聞けて勉強になりました。運営等もありがとうございました。
- ・分科会はとても和やかな雰囲気での運営だったので、職員同士での意見も出やすくとても良かったです。
- ・綿貫さんのように当事者側からのお話を伺うことできたのは、視点を広げることに役立った。綿貫さんのような方がいらっしゃれば、またお話を伺いたい。
- ・今回のような分科会の持ち方で良かったと思います。
- ・記念講演は、当事者の声を生で聞くことができて良かった。分科会は、堅苦しいものではなく、みんなで悩みを話したり、情報共有をしたりすることができてよかった。
- ・大会の準備・運営お疲れ様でした。私個人の意見です。公開授業の授業者は経験のある本務職員が行った方が、参観する方々の学びになると思いました。公開授業のクラスを増やしてプレッシャーを分散して行うのもアリですが、臨任職員には少し荷が重かった気がします。
- ・分科会では、小学校の先生や他特別支援学校の先生と授業内容や相談したいこと等について、気軽に意見を交換できる雰囲気がありとても良かった。運営お疲れ様でした。
- ・公開授業をさせていただきましたが、早い段階(夏休み前)で進めてくださったので、心づもりと準備がしっかりできました。ありがとうございました。実りの多い研修大会でした。系の先生方は長期に渡って本当にご苦労なさったと思います。お疲れさまでした。